

(刊夕)

夕刊

常磐論談

書き寄せ籠

(一名書きくず籠)

或人は婦人參政權を云々し一本には、兩端に二分位で、矢張りカゴプを入れたの長さに折裁したジク木四本が、まだまだ目釣鼻位に本を作り、圓の如く並べるとは、オイお目釣鼻番目一本には、二分位づつとは何の事かね、ア目釣鼻に裁断したジク木四本を鼻が分らぬかね、それは繪前者の反對に添加すれば、卷物の全盛時代に、土佐光同じ長さのマツチも、後者の鼻の作法といふのが、目釣鼻は前者よりも短く見ゆ、鼻の筆法だと言はれて居る次に三番目の一本の上下に目は宛かも細い線を引いたマツチを二つに切斷したる如く、鼻はム字形に軽いカゴプを添加したのと、四番目も同じく、カゴプをつけ、小ハナを描いて目はマツチより稍や長き一居ない、良く見ても悪く見ても四五分の、ジク木を上下でも眠つた様な御面相に見に添加して、四種同列に並べるのがある、其筆法をいへ見れば、一番目は二番よりふたつものである、それで思長く見へ、三番目は四番目よりひついた事がある、彼の御より短く見ゆるならん、此主張のあるではなく、徒に婦人の、お化シヨウも心な方式で繪筆を以つ各一寸づつ奇をテラひ、新らしきを好しに、化シヨウすれば折角の線、四本を描き、マツチ、我儘勝手を作り、透し木地の良い顔を鼻なしにしチを以て爲したと、同様に手に負えない輕卒女の異名でしようが、之れに反して線を添加しなば、一寸づつが新らしい女といふ事にならず、或所に迷文に違者な御上手に化シヨウすれば、三の線四本を並べ書きしに、一、或所人が居られまして、其の方高いお多福さんも立派な不等線の如くなる、口の動フ方がお書き遊ばしたといふ御前に化ける、皆さん一つかし方も亦然りで、口の開方がお書き遊ばしたといふ面白い事をやつて見給へ、き形や眼の造ひ方で、利口紀行文を拜クンいたしましマツチのジク二十本ばかりにも見へ馬鹿にも見ゆるもたが、それは筆で書いた紀行文で、足で書いたのは、紀行文に實が一會員の自由談話會

毎日 発行日 日曜日 休刊
 定価 二ヶ月 三圓六拾錢
 郵費 一ヶ月 一圓五拾錢
 廣告料 一ヶ月 五圓
 指定 二十錢 五拾錢
 發行所 小名濱町 常磐新聞社
 編輯 小名濱町 常磐新聞社

芳友會員

此の項終り
 自佐久

世にもめづらしい

亂ぼうの女告訴さる

各犬敷網豊漁

豊間大敷網は二十八日三十日の間は約一萬圓宛の大漁アジ鯛が多く小名濱も本日午前中アジ五千貫大鯛五十貫の漁獲があつた益々豊漁の様相は人気ワクが如し、

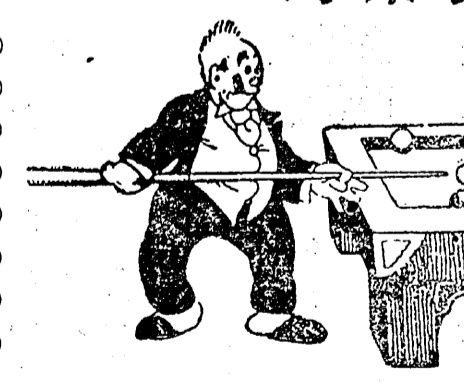
船入海岸埋立問題

大橋所長の私けんを叩く
 本町將來の重大問題として未だに何等一致意ケンもなすに迷いつ、ある今日専門家として大橋所長の私見をきく無益ならずと大橋所長と語る。曰く
 私の此の埋立問題に就ての私見を申し上げてみれば、只無條件で埋立される事は町としても不利益ならんも條件を附して同意したるは、埋立しない今日より益あり、有る条件で同意する方法もあるハ

小名濱商港工事の動き

本年晩夏防砂堤工事に着手
 本年度に入り商港工事設備は着々進捗しつつあるが本年晩夏の候には愈々本工事に着手することになつた、第一着手として測候所、元アイン工場との中間より防砂堤二百六十間工事を着手すると、

民衆的の二くら



ちりびりや一と

小名濱町中島通

端午の節句
 特別映畫
 草に祈る
 變幻女六部
 於馨城座

斜視眼

(13)

磐城水産工業株式會社

賣場主任 近藤 安雄君

君は平野署巡查部長 小名工金庫に入るとか。

濱派出所勤務中現水工社長君は警察上りの型を破り窮

の小野普平氏に見込まれ、屈な處なく、人に接するに

巡查部長を破れ、草履の如く親みを含みテンタンにして

くはうてきし、水工創立に際する處なく、鮮魚商

參與し、文字通りの粉骨砕身は慈父の如く君を慕つて居

自身の努力を拂い、今日の、年齢ヤヤク三十路を

水工ある、近藤氏の力を懸け、行く事四五、目前に展開す

めざるを得ない、大小名濱をナガめて、

宜なる哉、今日の君の地位君の抱負や水工の進展に對

は賣場主任など、水工と、發展策や如何に、免

しての米ビツたる、重要なに角百萬圓の水産事業會社

仕事を引受けて居る賣場の中心人物として、君の進

一ヶ月の利益は優に、全社退には大なる波紋を畫く、

員従業員の俸給を支拂い、好漢 岐路に俸、

尚ほ且つ大なる利益を、水せず一路を進め、

あらんか、種々なる批難が

起る、當然で在る、縣當局

者は是れに對して如何なる

釋明をなすか、大いに研究

を要する重大問題である、

江名町 黒川藤太郎

若竹のおもちや姉さん

すいたお方とワビ住い、今

度料理屋をするとか精々御

引立願します。

あまり長くなりまます故これ

で失禮申します。

不浪人生

不浪人生

讀者の領分

紅燈の影

不浪人生

五月下旬より執行された、
縣下各町村家賃貸賃格の
調査も略ぼ終了し、本月末
日迄第一次調査委員會に附
議の準備中であるが、縣は
是れに對し標準調査をなす
事であるが、各町村各自之
立案を一般標準として、提
案調査委員會に附議し、而
して縣下各町村の家賃貸賃
格が公平に出來得るもの若
竹の福助姉さん、すい
であらうが、總ての税金は
公平で、少しでも不公平が
の前の、青葉に鹽との事

和洋鋼鐵、金物問屋



釜屋商店

平町五丁目
電話九番 一三九番

船具 附屬品一棧
機械油

小名濱水産株式會社

〔電話四十三番〕



磐城水産工業株式會社

社長 小野普平
總支配人 福尾伊太郎
小名濱町
〔電話六六 二二〇番〕

小名濱中町

洋貨 雜貨 仕立物
村上吳服店

良品廉賣は村上のモットー

カ ナ シ ヨ

小名濱中町島本通

湯本二小名濱問
乗合自動車
切貨のにもに
馬目自動車部
小名濱町

カ フ エ

小名濱中町島本通

中鐵式船用ゼミディーゼル
發動機製作

中之作鐵工所

江名町中ノ作
電話九番 四十一番

小名濱町

久保田醫院

〔電話二十二番〕

謹白

一、印刷物一式引受
技術卓越せる職工を招聘しました

印刷物は大小共親切丁寧

安價迅速を旨とし奉仕的氣分

で勤めます
多少共御用命願ひます

小名濱町
常磐新聞社

御報次第參上御承ります